

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021年度第1回「原子力アゴラ」調査専門委員会 研究炉等検討・提言分科会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() *分科会、WG等具体的に記入のこと
開催日時	2022年2月28日(金)9:00～11:00 メール審議の場合は開始、終了日を記入のこと
開催場所	オンライン開催
参加人数	8名 中島(主査)、峯尾(幹事)、天谷、神永、中塚、永富、芳原、与能本(以上、次期分科会委員)
議事	<p>1. 各試験研究炉等の状況</p> <p>我が国の試験研究炉の状況及び関連する委員会活動等について、報告があった。</p> <p>2. グレーデッドアプローチについて(報告者:与能本)</p> <p>原子力機構におけるグレーデッドアプローチの観点から見た規制の状況に関する課題と対応についての議論の紹介があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公衆リスクが小さい施設の審査に時間がかかりすぎ、リスクに応じた規制の厳密さに関する考え方(の整理)が重要 ・ 規制側への提案を含む主体的な規制対応の高度化が必要 <p>この報告を踏まえ、今後の分科会活動について議論した。主なコメントは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規制対応の課題を体系的にまとめ、第三者の立場で提言を行うのが良い。 ・ 規則改定の検討に加え、運用の範囲で解決できる課題もあり、戦略的な計画を作る必要がある。 ・ 規制との対話の場はいくつかあるが、それを活用し効果的に課題を解決するには十分な準備と体制が必要。 ・ 議論には、若手の分科会への参加も必要 <p>3. 今後の進め方について</p> <p>JAEAの活動を核として、分科会での検討を進めることとし、手始めに現状のレビューとして、規制基準に関しこれまでの経験を整理する。また、若手にも活動に参加してもらうこととした。</p>
備考	